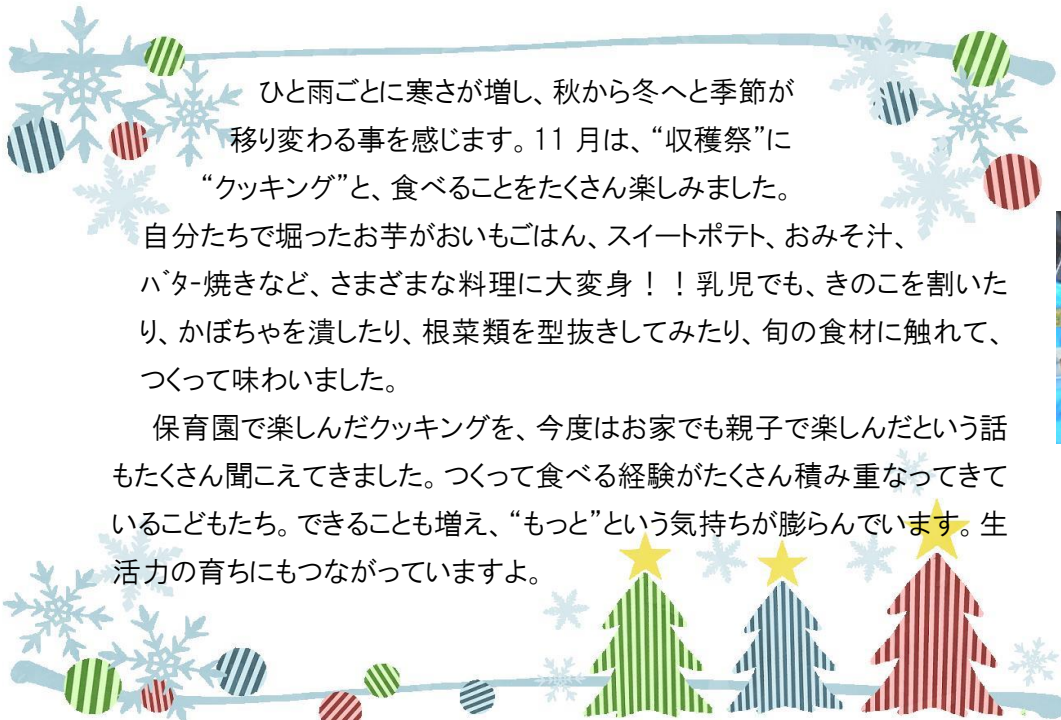


秋空の下で、収穫祭！

今年度は、5歳児が初めて種まきから稲刈りまでを体験しました。(例年は、田植えと稲刈り体験)田植えをしてから、何度か田んぼに足を運び、稲の成長過程も目にしてきました。そんな止々呂美の田んぼで収穫祭をしました。

朝から火をおこし、羽釜で新米を炊きました。つやつやのごはんが炊き上がりました。おやつにも、止々呂美の畑で掘ったさつまいもをホイル焼きにして食べました。おいすぎて、思わず笑顔がこぼれることもたち。お腹も心も満たされる時間となりました。

そんな子どもたちの姿を見て、いば農園のご近所の方が子どもたちに柿もぎを体験させてくださいました。採れたての柿はとても甘く、大喜びでした。いばさんを始め、いろいろな人とのつながりが、子どもたちの体験をとて豊かにしてくれています。



ひと雨ごとに寒さが増し、秋から冬へと季節が移り変わる事を感じます。11月は、“収穫祭”に“クッキング”と、食べることをたくさん楽しみました。自分たちで掘ったお芋がおいもごはん、スイートポテト、おみそ汁、バター焼きなど、さまざまな料理に大変身！！乳児でも、きのこを割いたり、かぼちゃを潰したり、根菜類を型抜きしてみたり、旬の食材に触れて、つくって味わいました。保育園で楽しんだクッキングを、今度はお家でも親子で楽しんだという話もたくさん聞こえてきました。つくって食べる経験がたくさん積み重なってきている子どもたち。できることも増え、“もっと”という気持ちが膨らんでいます。生活力の育ちにもつながっていますよ。



12月2日は… 「キラキラフェスティバル」

給食まつりのお弁当は、簡単に作る事ができる、子どもたちに大人気のメニューを選んでいきます。レシピもつけていきますので、ぜひ、お家でも作ってみてくださいね。初めての取り組みですので、ご意見ご感想もお待ちしております。



12月22日は… 「おもちつき大会」

日本の伝統行事であるおもちつき。お正月の鏡餅の準備も兼ねて、子どもたちと楽しみます。4、5歳の子どもたちは、実際に杵をもってつくことも体験できたらと思っています。0.1歳の子どもたちは、窒息の危険もあるので、おもちは食べず、見ることでおもちつきを知る機会になればと思っています。



お箸が始まりました



すみれぐみの子どもたちがお父さん、お母さんに作ってもらった世界に1つだけの特別なお箸を使って給食を食べ始めました。

“ままにつくってもらったの”“みて～！ハートついてる！”と、嬉しそうにお友だちと見せ合いつこ。初日は、自分たちで「きのこスパゲッティ」をつくって食べました。お箸をきのこの傘にひっかけたり、パスタをつまみあげられたことが嬉しくて、“みて～！できた～！”の声があちらこちらから聞こえてきました。大きくなった自分を感じて、お箸を使い始めてから、食べる意欲もぐんと膨らんでいるすみれぐみの子どもたちです。



- お箸を持てる手の目安とは？
- * 5本の指が分化していること (手できつねができる→)
 - * 閉じたOが描けること



最近では、生活の中で指先を使うことが少なくなっています。指先を使う遊びはもちろんのこと、掃除、せんたく、料理など、子どもと一緒に生活をつくっていくことで身体の育ちや心の育ちに繋がりますよ。